

早稲田大学日本語教育学会2008年春季大会 プログラム

2008年3月29日（土）22号館2階（201/202/203号室）

9：10－9：40 受付（参加費：会員500円／非会員600円 事前申込不要）

第1会場：201教室

時間	第1会場（201号室）
9：40－9：55	開会式 開会の挨拶
10：00－10：30	日本語のインタビューの談話における情報収集の談話展開の分析 小林 友美（博士後期課程）
10：35－11：05	談話参加者間の非共有情報における話題調整と相づち 権 賢珠（博士後期課程）
11：10－11：40	文体を意識した日本語教育のために 一文章の硬さの調査から一 黒岩 幸子（修士課程）
11：40－13：00	（休憩）
13：10－14：40	講演 「協働的な学びにおける互惠性」 館岡 洋子氏（大学院日本語教育研究科教授）
14：40－14：55	（休憩）
14：55－15：25	継続的人間関係の初対面二者間会話において相手に与える印象の要因 田所 希佳子（修士課程）
15：30－16：00	中上級教科書における「ネガティブコミュニケーション」についての研究 一表現意図の視点から一 潘 韋伶（修士課程）
16：00－16：10	（休憩）
16：10－16：40	「+恩形性」であるが恩恵の授受が行われないテクレル・テモラウの機能に関する考察 伴野 崇生（博士後期課程）
16：40－17：30	（休憩）
17：30－18：00	総会
（18：30）	（懇親会 8階）

第2会場：202教室

時間	第2会場（202号室）
12：00～13：00	ポスター発表 （1）実践から見えてきたこと一初級段階における「総合活動型日本語教育の意義と課題」一 武 一美 今井 なをみ 古屋 憲章（日本語教育研究センター） （2）中国職業高校における「就職への意識化」を意図した会話授業の実践報告 大野 のどか（修士課程）

第3会場：203教室

時間	第3会場（203号室）
10：00－10：30	スウェーデンの大学生日本語学習者の言語学習ビリーフに関する一考察 西脇 英美（修士課程）
10：35－11：05	年少者日本語教育実践の動態性 －「子どもの実態」と「実践者の問題意識」から実践を考える－ 河上 加苗（修士課程）
11：10－11：40	成長する日本語教師を読み解く－ライフヒストリーの分析から－ 飯野 令子（博士後期課程）
11：40－14：55	（休憩）
14：55－15：25	母語話者と非母語話者の固定的役割関係を超える「経験」と「学び」 －「2007春 にほんご わせだの森」に参加した日本語母語話者へのインタビューから－ 新居 知可子（修士課程）
15：30－16：00	公共的空間としての教室デザインの試み －日本語学校における実践から－ 佐藤 正則（修士課程）
16：00－16：10	（休憩）
16：10－16：40	「学び」の認識としての評価活動 －活動型日本語クラスにおける新たな評価観の提案－ 古屋 憲章 古賀 和恵（日本語教育研究センター）
16：45－17：15	読み手の意識を一文から文章全体へと拡大させる試み －早稲田大学本語教育研究センター読解6レベルにおける実践報告－ 熊田 道子（日本語教育研究センター）

17:30~18:00 総会（201号室）

18:30~20:00 懇親会（22号館8階会議室）

問い合わせ：早稲田大学日本語教育学会運営委員 wng-jimukyoku@list.waseda.jp